



# 個人投資家向け会社説明会

STOCK CODE:7177

2017年2月13日

## 安さと使いやすいサービスを武器に成長。海外でも事業を展開



**2005年10月**  
GMOインターネット証券  
(現GMOクリック証券)設立

**2005**

**2006**

**2006年5月**  
オンライン証券取引サービス開始  
**2006年10月**  
店頭FX取引サービス開始



香港  
進出

**2012年8月**  
香港子会社でFXサービス  
提供開始

**2010**

**2010年4月**  
CFD取引サービス開始

**2012年1月**  
GMOクリックHD設立

**2012**

**FXプライム by GMO**



**2012年9月**  
FXプライム (現FXプライム  
byGMO) を連結子会社化



ロンドン  
進出

**2015年3月**  
英国子会社でFX・CFDサービス  
提供開始

**2015**

**2015年4月**  
GMOクリックHD上場  
(東証JASDAQ)

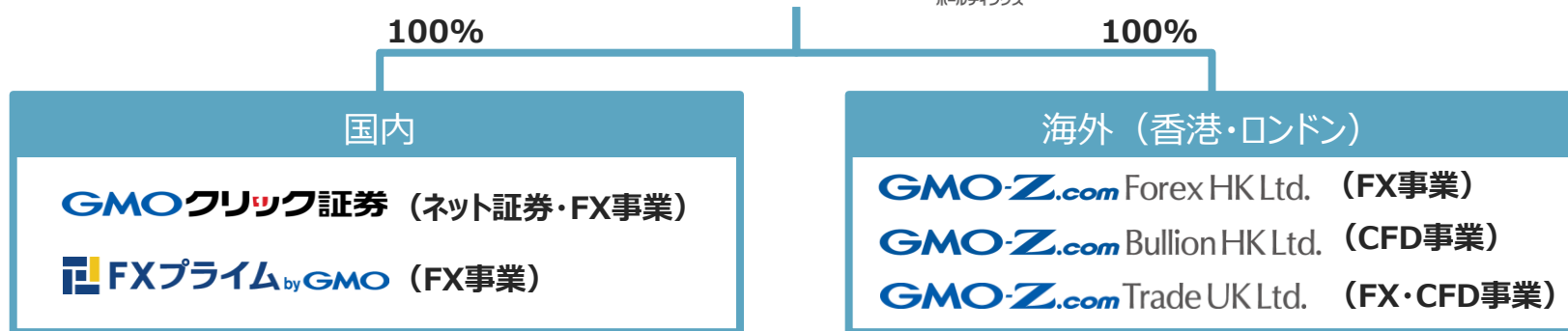
**2016**

**2016年2月**  
新FXシステム稼働開始

# 会社概要

商号	: GMOクリックホールディングス株式会社
設立	: 2012年1月
代表者	: 代表執行役社長 鬼頭 弘泰
連結子会社数	: 6社（国内2社・海外4社）
連結従業員数	: 249名（2016年12月末日現在）
グループ事業概要	: ネット証券事業、FX事業
証券コード	: 7177（東証JASDAQスタンダード）

**GMOクリックHD** (金融持株会社)  
ホールディングス



※2016年11月にタイ王国に子会社を設立。証券事業開始に向けて準備中

金融サービスをもっとリーズナブルに  
もっと楽しく自由に



## 個人投資家を中心とする国内外のお客様に インターネット金融サービスを提供

### 取引所取引

### 店頭取引

概要

取引所を介して行われる取引

投資家と証券会社等との相対取引

主な商品

株

先物  
OP

365  
FX

店頭  
FX

外為  
OP

CFD

収益源

手数料・金利\*

スプレッド等

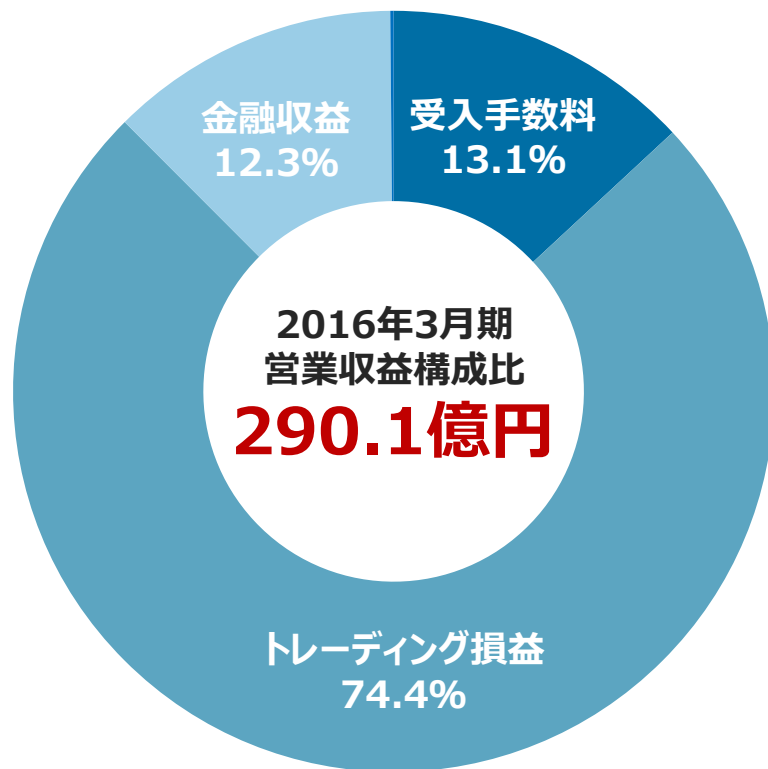
PL科目

受入手数料・  
金融収益

トレーディング損益

※株式信用取引に係る金利

FXが主力。FX等店頭デリバティブ取引が収益を牽引



## 受入手数料**37.9億円**

- 株式取引、先物オプション取引、取引所FX取引等から得られる収益

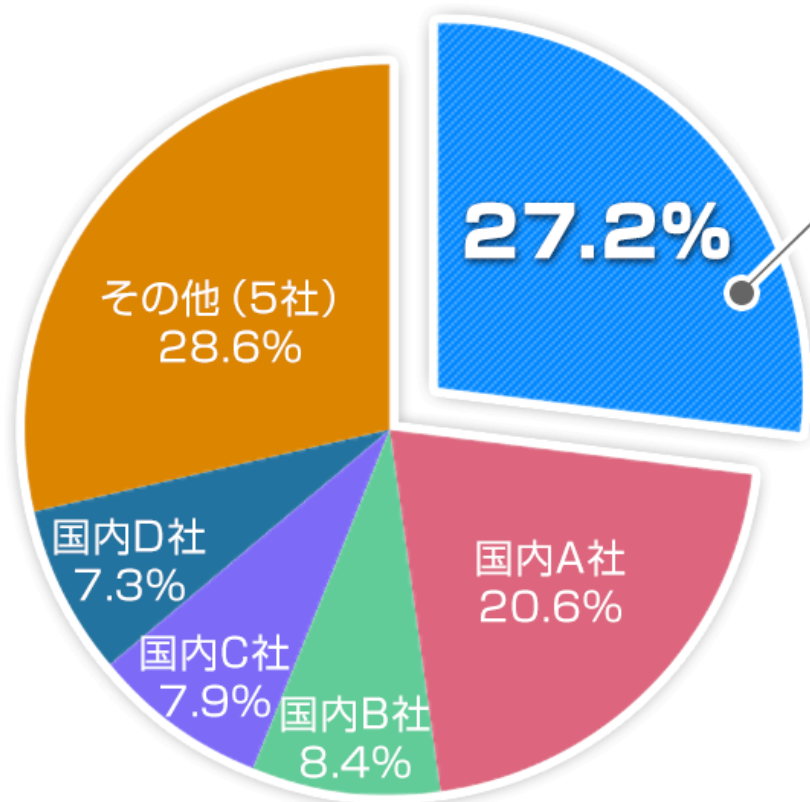
## トレーディング損益**215.9億円**

- 店頭FX取引、CFD取引、外為オプション取引等から得られる収益

## 金融収益**35.8億円**

- 信用取引等から得られる収益

# 年間FX取引高世界第1位



GMOクリック証券

5年連続

年間FX取引高

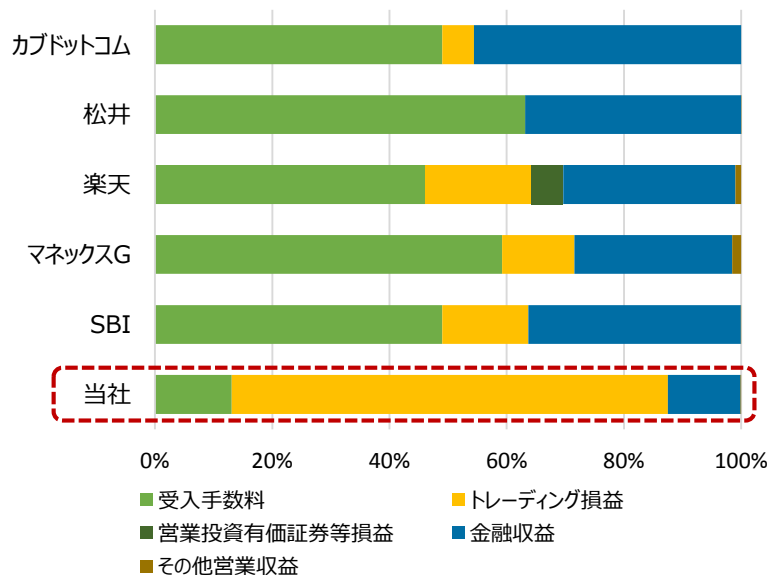
世界第1位

※Finance Magnates「2016年年間取引高調査報告書」において、2016年1～12月のFX取引高（売買代金/ドル換算）1位を獲得。上記の図は、報告書に基づく世界上位10社のシェア

# 主要ネット証券比較

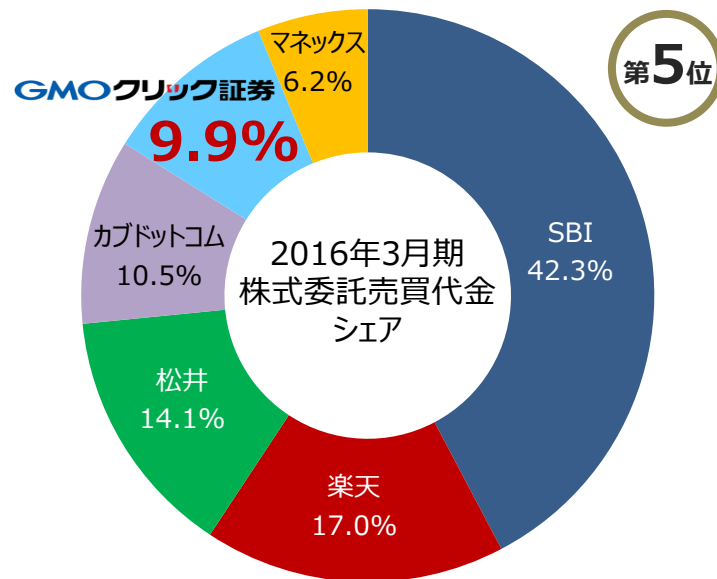
他社の収益構造と違い、FXが成長ドライバー  
株式も**大手ネット証券の一角**を占める規模。今後はさらに伸ばす

## 営業収益構成比



出所：各社公表資料（2016年3月期決算）  
※松井証券、カブドットコム証券は非連結決算、それ以外の会社は連結決算の数値

## 株式委託売買代金



出所：各社公表資料。シェアは、6社を全体とした場合の各社シェア



高い技術力を強みにシステムの開発・保守・運用を内製化

- システム内製化により、システム開発コストを低減。価格競争を起こし顧客基盤・マーケットを拡大
- 顧客ニーズ・マーケットの変化にスピーディに対応

安さ

業界最安値水準の  
手数料・スプレッド



使いやすさ

簡単操作・高機能  
取引ツール

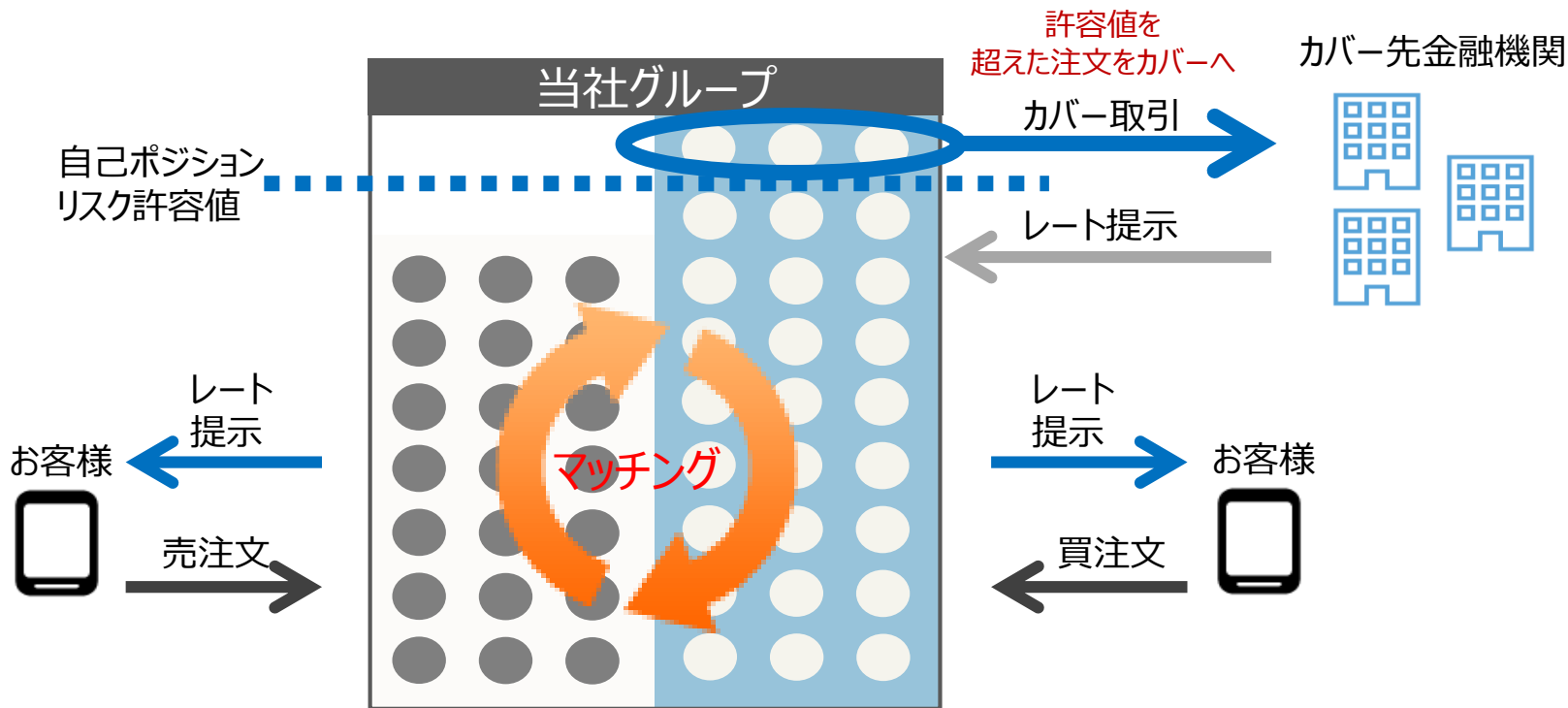


# (参考) 主要ネット証券手数料比較

現物 1約定ごと プラン	GMOクリック 証券	SBI証券 (スタンダード プラン)	楽天証券 (ワンショット コース)	カブドットコム 証券 (インターネット)	マネックス 証券 (PC)	松井証券
10万円	88円	139円	139円	90円	100円	1約定ごと プランなし
20万円	98円	185円	185円	180円	180円	
50万円	241円	272円	341円	250円	450円	
100万円	436円	487円	609円	990円	(成行) 1,000円 (指値) 1,500円	
150万円	528円	582円	728円	1,440円	(成行注文) 約定金額の0.1% (指値注文) 約定金額の0.15%	
3,000万円	834円	921円	1,152円	3,690円		
3,000万円超	889円	973円	1,217円	3,690円		

出所：各社ホームページより当社作成（2017年2月7日現在）  
※各社手数料は税抜表示

## 効率的なマッチングと徹底したリスク管理を追求



(上記は概念図)

# FX取引高世界No.1を支えるビジネスモデル

当社グループはFXディーリング業務をシステムにより完全自動化

他社



ディーラーによるトレード

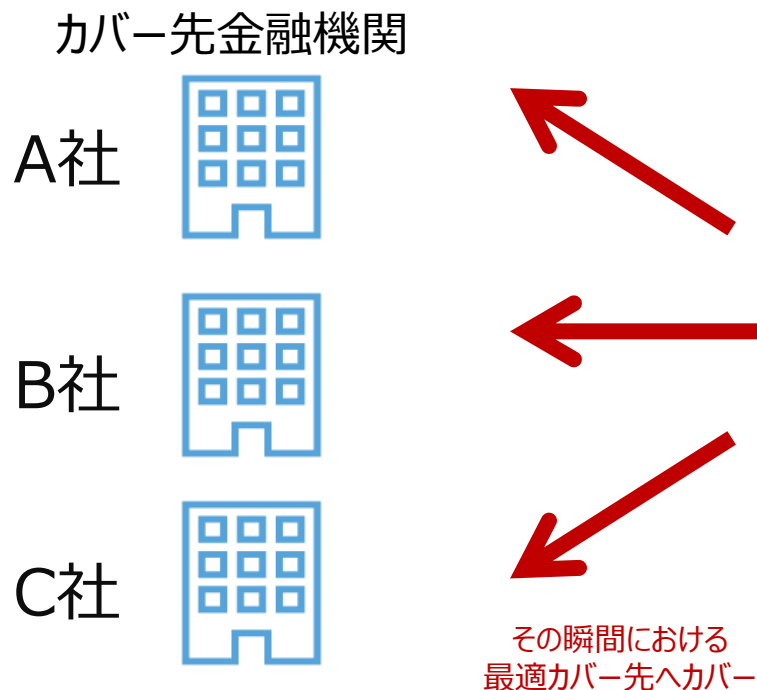
当社グループ



システムによる自動化

# FX取引高世界No.1を支えるビジネスモデル

上手にシステム設定をして、カバー取引を最適化



(上記は概念図)

# ボラティリティと収益の関係

収益  
構造

$$\text{対顧客取引} \quad \text{カバー取引}$$
$$\left( \text{対顧客スプレッド} \times \text{取引数量} \right) - \left( \text{カバースプレッド} \times \text{カバー数量} \right)$$

取引量

カバーコスト

ボラの上昇

増加

増加

ボラの低下

減少

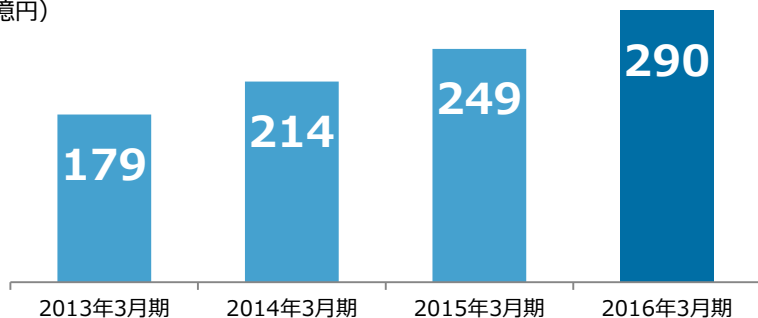
減少

(上記は概念図)

収益・利益ともに順調に成長。2016年3月期は過去最高業績

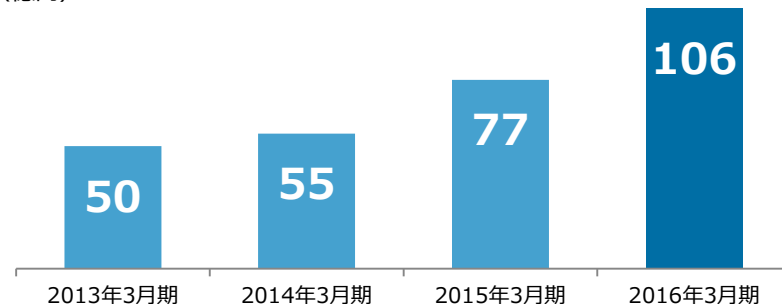
## 営業収益

(億円)



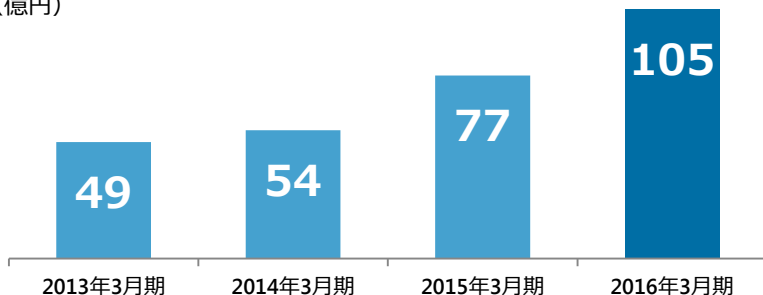
## 営業利益

(億円)



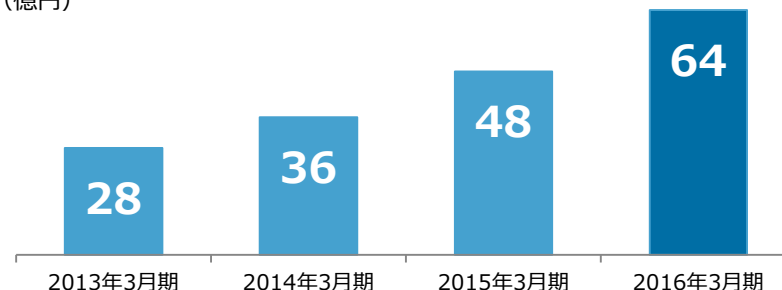
## 経常利益

(億円)



## 親会社株主に帰属する当期純利益

(億円)



# 最新決算サマリー | 2017年3月期3Q（4-12月）

店頭FX収益等の減少により減収も、最終利益は増益の着地

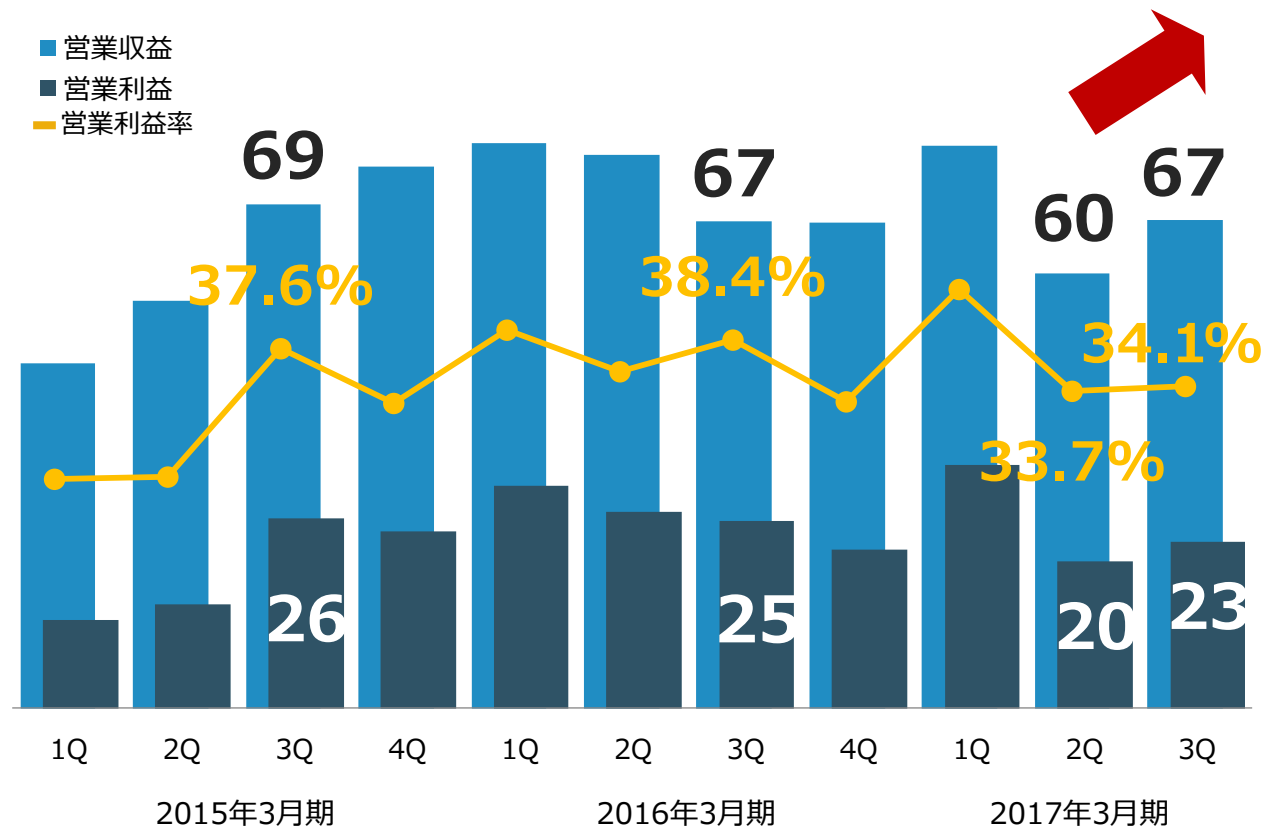
(億円)	2016年3月期 3Q（4-12月）	2017年3月期 3Q（4-12月）	前年同期比	
			増減額	増減率
営業収益	222.8	<b>206.1</b>	▲ 16.6	▲ 7.5%
純営業収益	210.9	<b>196.1</b>	▲ 14.7	▲ 7.0%
営業利益	84.1	<b>77.1</b>	▲ 6.9	▲ 8.3%
経常利益	84.0	<b>76.2</b>	▲ 7.8	▲ 9.3%
最終利益	49.9	<b>52.8</b>	+ 2.9	+ 5.9%



# 四半期業績の推移

(億円)

- 営業収益
- 営業利益
- 営業利益率



短期的な変動は  
あるものの、  
収益利益規模は  
成長

## 方針

### 強いものをより強くする

収益の柱であるFXをさらに強くし、事業基盤を強化  
既存事業（国内・海外）、新規事業へ投資し成長を図る

#### 国内 事業

- 国内店頭FX取引高シェア & 収益拡大
- CFDを新たな収益の柱に
- 株式売買代金第3位の達成

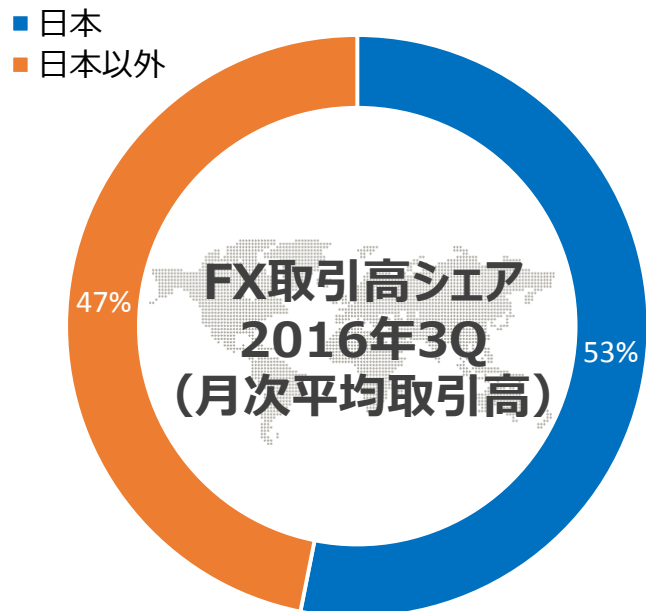
#### 海外 事業

- 黒字定着し攻めの体制

#### 新規 事業

- 新たな金融商品・事業の展開

## 日本の個人投資家によるFX取引は世界の約半数を占める



### 日本におけるFX発展の背景

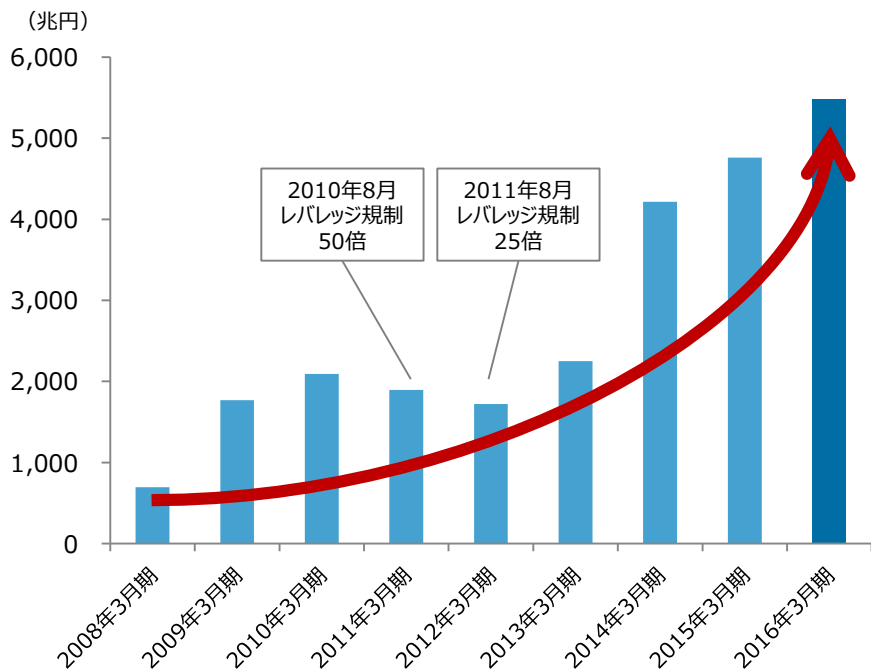
株式投資と比較し、投資対象の選定が容易

少ない資金でレバレッジを効かせた取引が可能

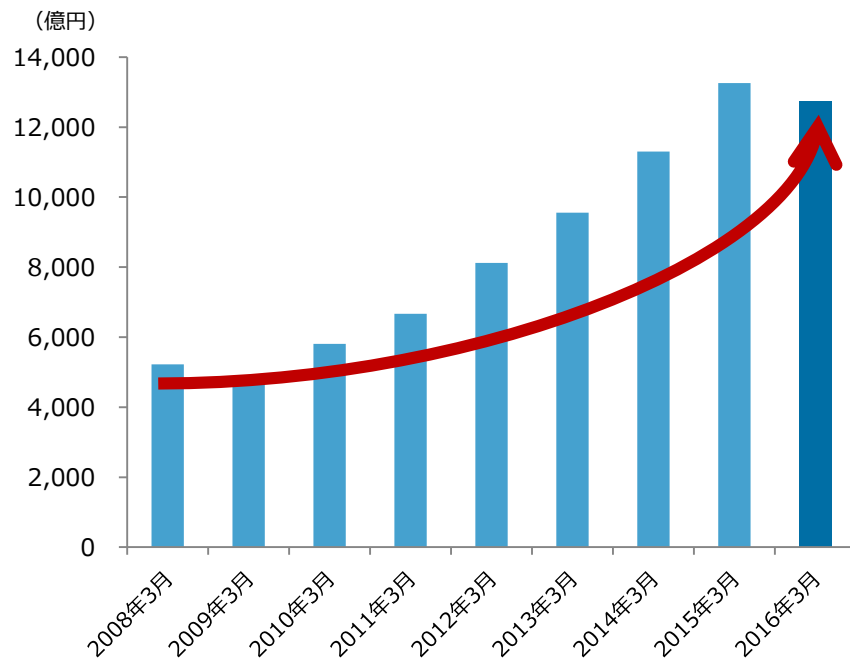
24時間取引可能で、投資機会が多い

## 国内店頭FX市場は大きく成長

### 店頭FX取引高



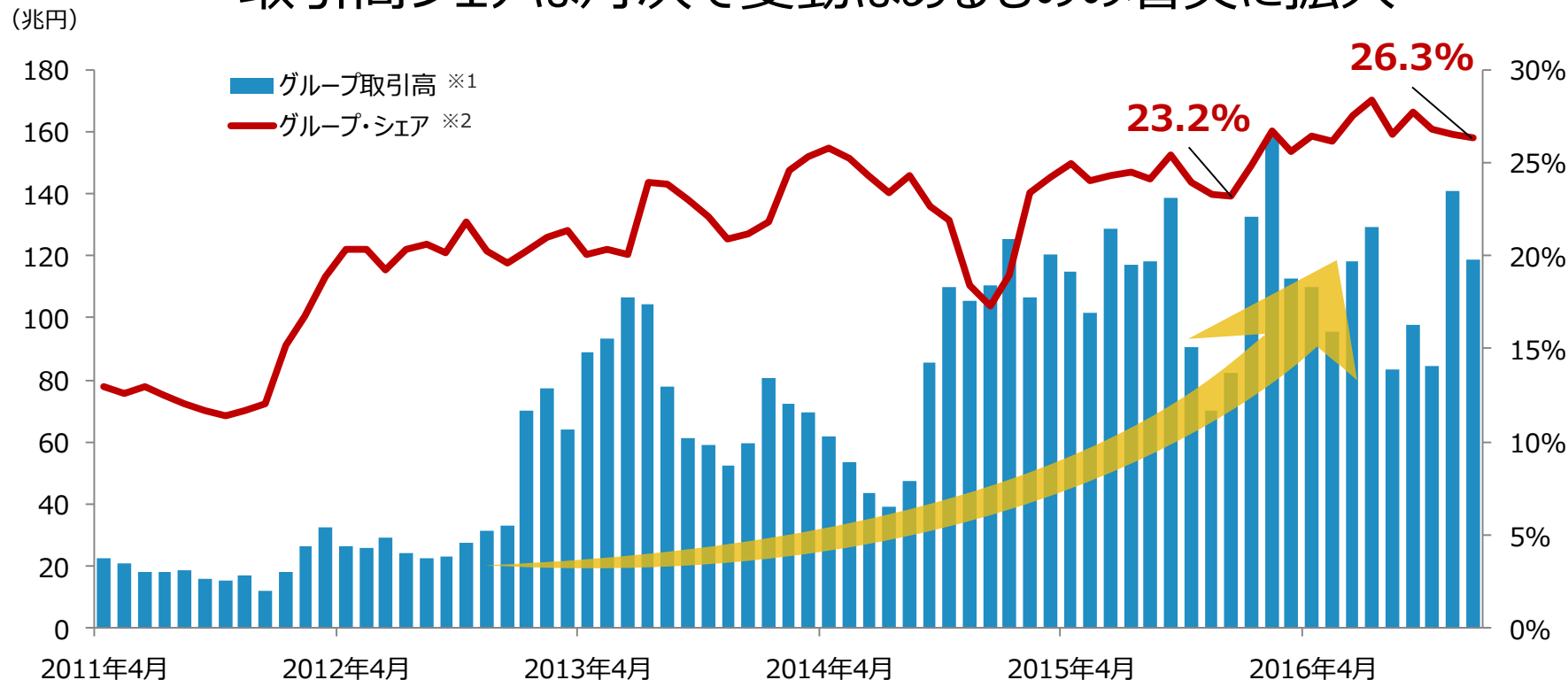
### 店頭FX預り証拠金残高



出所：金融先物取引業協会「四半期統計データ」より当社作成

# 国内店頭FXにおける当社グループ取引高・シェアの推移

## 取引高シェアは月次で変動はあるものの着実に拡大



出所：当社データ及び金融先物取引業協会「店頭FX月次速報」より当社作成

※1 2015年2月以前の店頭FX取引高はGMOクリック証券単体数値。2015年3月以降は、GMOクリック証券、FXプライムbyGMOの取引高合算数値

※2 グループ・シェアは、金融先物取引業協会「店頭FX月次速報」を市場全体として算出

## VR空間でのFX取引を実現する“GMO-FX VRトレード” 2017年1月31日にアプリをリリース

VR技術を使い、仮想空間上にディーリングルームを展開  
目線を合わせることで、為替チャートの拡大/縮小、  
通貨ペアの選択や売買の注文が可能

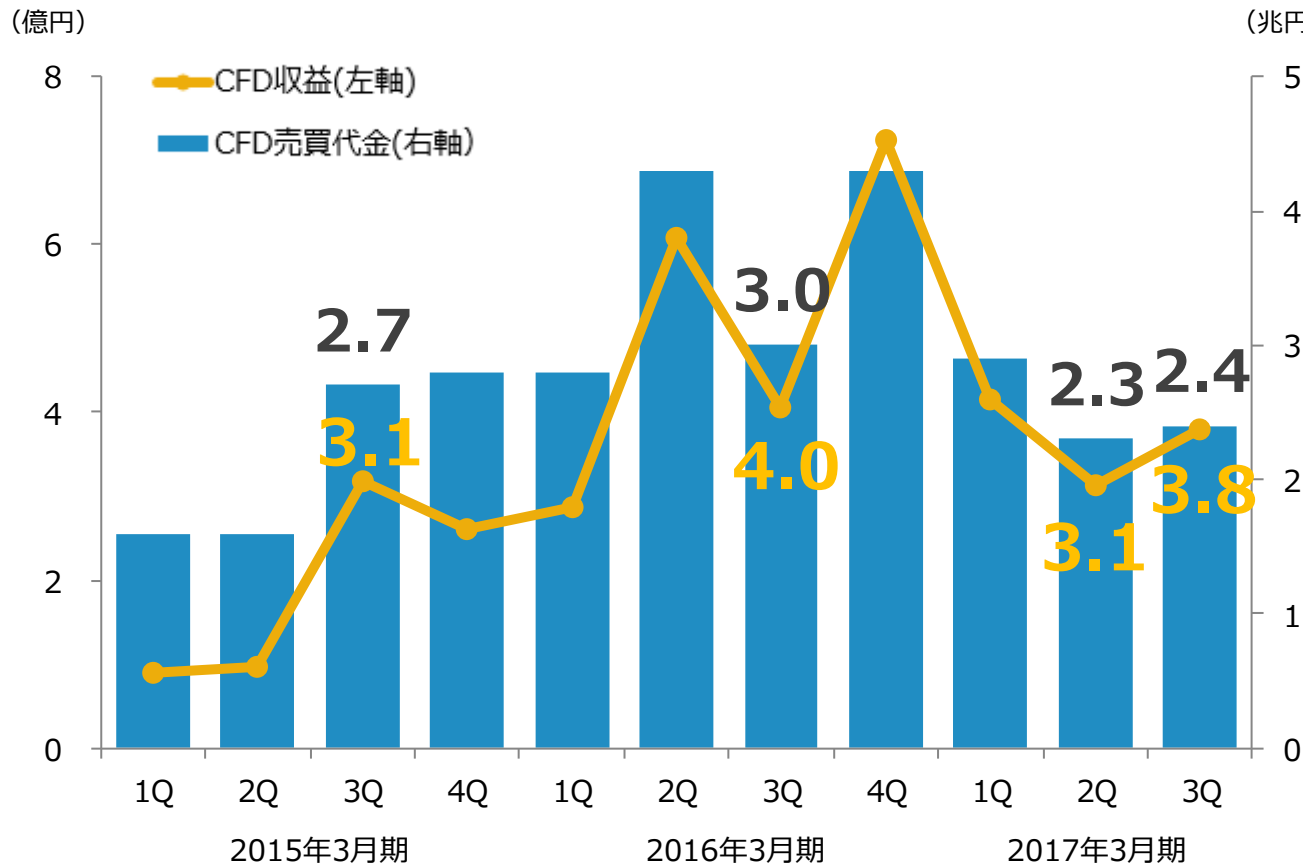


(イメージ図)

➔ AI活用も視野に今後もVR×金融でのサービス展開の可能性を探求

※Android版は2017年1月31日、iOS版は2017年2月1日にリリース

# CFD概況



原油や日本225等  
売買代金が減少  
取扱銘柄の増加や  
ツール等の  
利便性向上で  
成長を図る

※売買代金はGMOクリック証券の数値を参考として記載

新商品・サービスを拡充し、使いやすさを強化  
顧客基盤拡大を図る

貸株サービス

2016年10月下旬  
スタート

貸付型  
クラウドファンディング

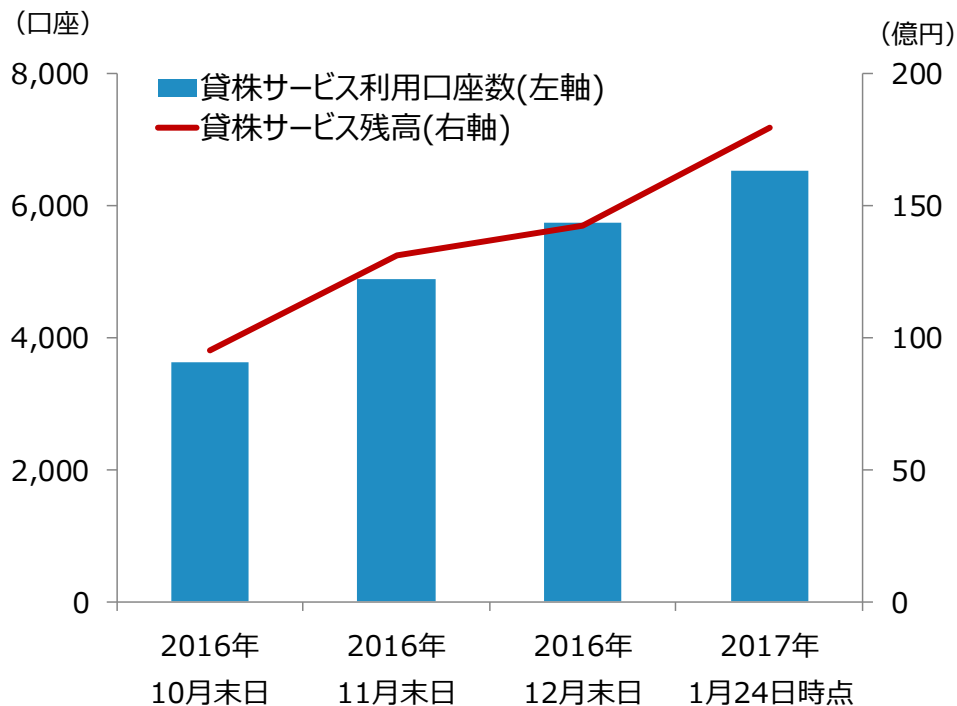
2016年10月下旬  
スタート

投資信託

2016年度中に  
スタート予定



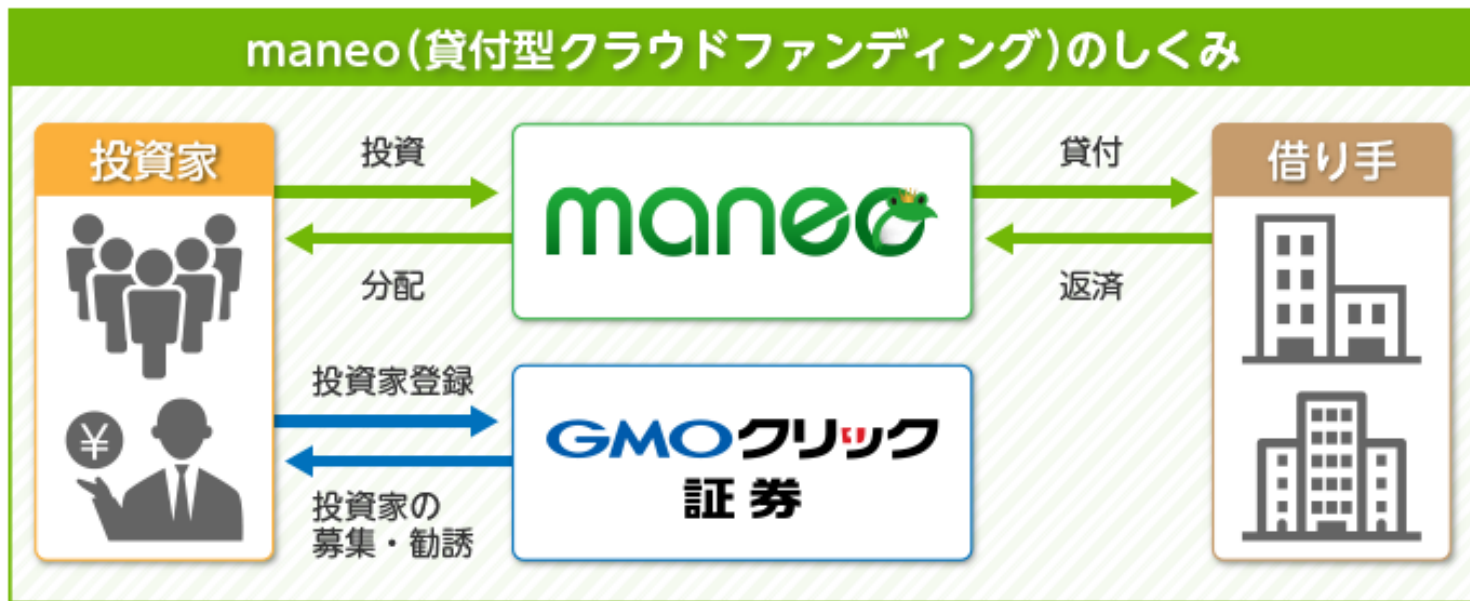
## 利用口座数、貸株サービス残高は順調に伸長



- 利用申込開始 : 10/15～
- サービス開始 : 10/17～
- 口座数 : 6,524口座  
※1/24現在の口座数
- 貸株サービス残高 : 179億円  
※1/24現在の口座数

# 貸付型クラウドファンディング「maneo」

新しい資産運用のカタチとして注目を集めるサービスに、  
お客様の期待高く、サービス開始までに1,332口座



GMOインターネットグループの世界展開ブランド“Z.com”を活用し、  
将来への投資として海外事業を推進

## Z.com

London

展示会に出展し、ロシア語圏からの集客も開始  
規模は小さいものの着実に口座数、収益は伸長



主にマーケティング拠点として活動  
中国をメインターゲットに英国に送客

Hong Kong

Bangkok

2017年2月に900百万タイバーツ増資（予定）  
証券業ライセンス取得に向けて準備を推進  
来年度の開業を目指す

Z.comの東南アジアにおける取り組み  
2016年10月から開催された  
「AFF SUZUKI CUP 2016」に  
オフィシャルスポンサーとして協賛



※タイ王国における事業の開始は、タイ王国における証券業ライセンスの取得が前提

各国の人気サッカー選手を起用し、マーケティングを展開

**KICK OFF YOUR WEBSITE  
GET YOUR DOMAIN**

日本代表  
香川真司選手



# Z.com

最も短くて覚えやすい1文字ドメイン



ベトナム代表  
グエン コン フォン選手



ミャンマー代表  
チャウ・コー・コー選手



タイ王国  
Coming soon...

# あおぞら信託銀行との資本提携

2016年7月、GMOインターネット保有のあおぞら信託銀行株式  
(7/21現在7.45%) を取得し、新しい金融領域への挑戦を開始

## 新ネット銀行

あおぞら信託銀行

次世代型ネット銀行  
「インターネット銀行準備室」を  
7月に設置  
2017年度中に開業予定

## GMOクリック証券

銀証連携サービスによる  
顧客満足度向上  
新ネット銀行からの  
新規顧客流入等を期待



あおぞら銀行

GMO INTERNET



ホールディングス

## GMO Walletへの出資

GMOインターネットグループがGMO Walletを準備会社として  
仮想通貨の交換および取引事業に参入。当社も35%出資



基本方針：株主に対する利益還元と内部留保の充実を総合的に勘案し、収益性、成長性、企業体質の強化を考慮しつつ、継続的かつ安定的に配当を行うこと

目標

連結配当性向

**50%** (年4回配当)

1株当たり 配当金	1Q	2Q	3Q	4Q	年間
2017年 3月期	9.70円	6.15円	6.68円	—	—
2016年 3月期	6.38円	5.60円	5.34円	5.00円	22.32円

## 優待の内容

**GMOクリック証券** における

1. 売買手数料相当額最大15,000円キャッシュバック
2. GMOクリックHD株式買付手数料相当額キャッシュバック

## 優待基準日

2016年6月末日、2016年12月末日

株主優待の詳細は当社ホームページにてご確認ください。  
<https://www.gmo-click.com/ir/stock/benefit.html>



- 技術力を強みにシステムを内製化。安くて使いやすいサービスで成長
- FX取引高は5年間ずっとと世界No.1
- 株式は大手ネット証券の一角。今後さらに伸ばす
- 主力のFXを更に強化し既存/新規事業へ投資、持続的成長図る
- 連結配当性向の目標は50%（年4回配当）

# Appendix

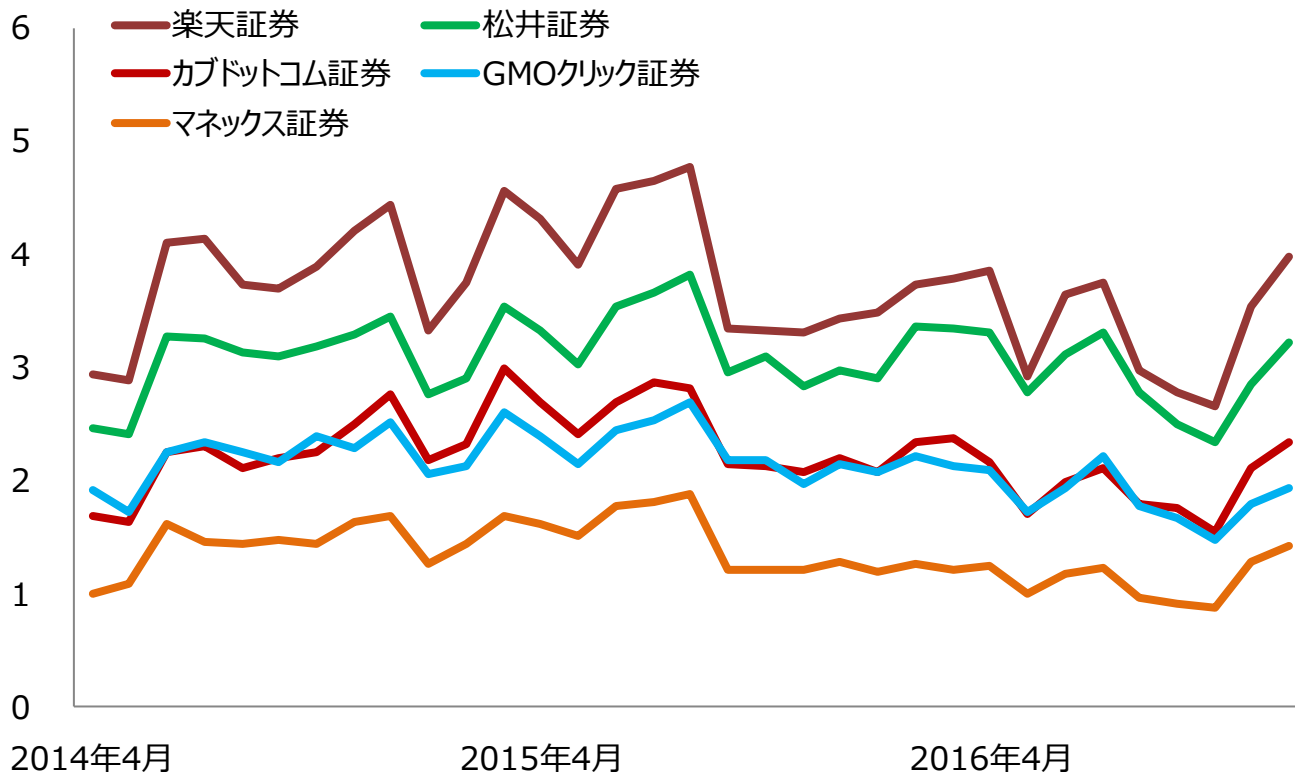
# 会社概要

会社名	GMOクリックホールディングス株式会社 (GMO CLICK Holdings, Inc.)
所在地	東京都渋谷区桜丘町20番1号
代表者	代表執行役会長 高島 秀行 代表執行役社長 鬼頭 弘泰
事業内容	金融商品取引業等を行うグループ会社の経営管理ならびにこれに 附帯する業務
設立	2012年1月
資本金	499百万円 (2016年12月末日現在)
連結子会社	GMOクリック証券株式会社 株式会社FXプライムbyGMO GMO-Z.com Forex HK Limited (香港) GMO-Z.com Bullion HK Limited (香港) GMO-Z.com Trade UK Limited (英国) GMO-Z.com Trade (Thailand) Limited (タイ王国)
連結従業員数	249名 (2016年12月末日現在)

上場証券取引所	東京証券取引所 JASDAQスタンダード
証券コード	7177
上場日	2015年4月1日
事業年度	4月1日～翌3月31日
定時株主総会	毎年6月
定時株主総会基準日	3月31日
剰余金の配当基準日	3月31日、6月30日、9月30日、12月31日
1単元の株式数	100株
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7-10-11 TEL：0120-232-711（東京） / 0120-094-777（大阪） 受付時間：土・日・祝祭日等を除く平日9：00～17：00
公告方法	株式に係る各種事務手続きの詳細につきましては、下記の三菱UFJ信託銀行株式会社のホームページをご参照ください。 <a href="http://www.tr.mufg.jp/daikou/">http://www.tr.mufg.jp/daikou/</a> なお、証券会社の口座で株式を保有されている株主様の住所変更、配当金受取方法のご指定等のお手続きについては、お取引の証券会社へご連絡ください。
	電子公告 公告URL <a href="https://www.gmo-click.com/">https://www.gmo-click.com/</a> ※ ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

# 主要ネット証券比較 | 株式売買代金

(兆円)



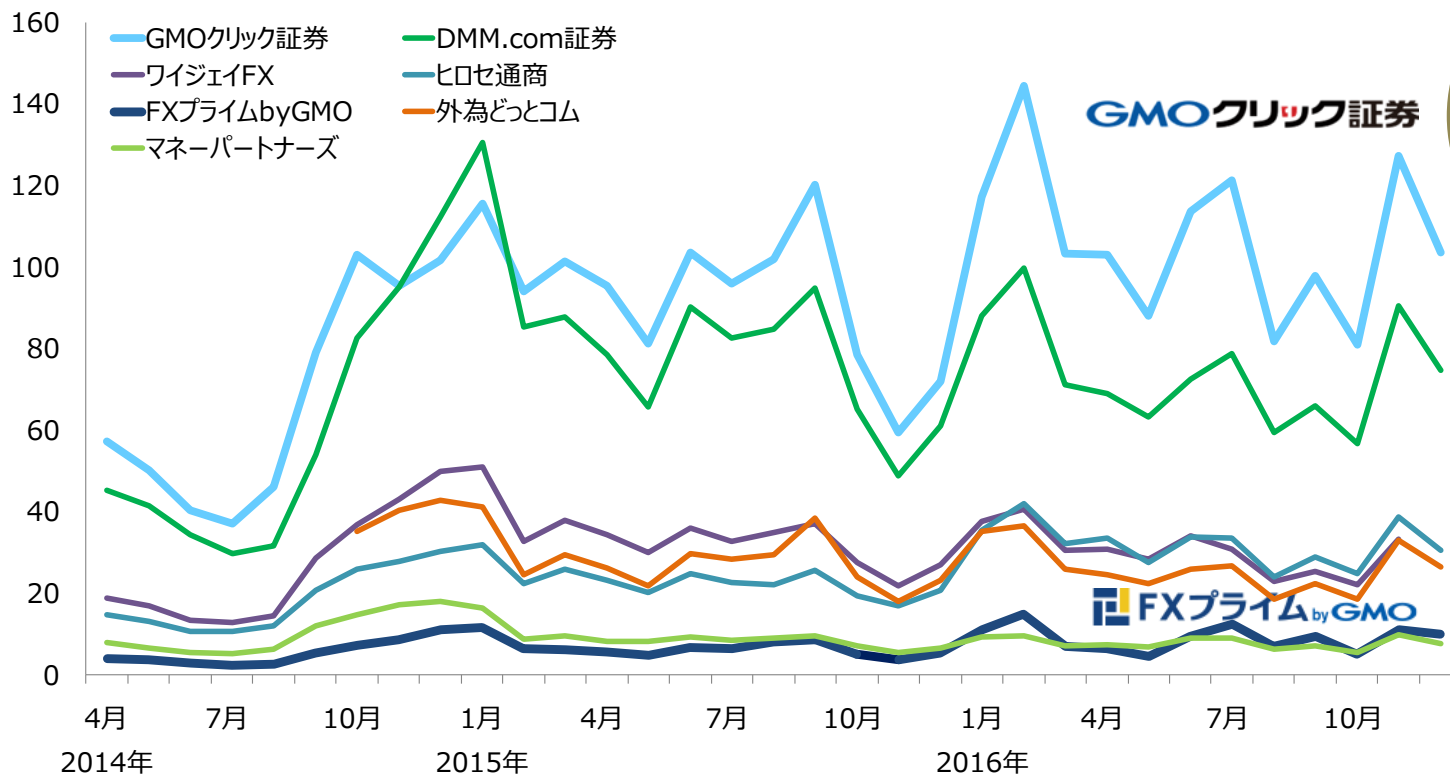
株式売買代金  
4～5位で推移

GMOクリック証券

出所：各社公表資料より当社作成  
※SBI証券は2016年6月以降の数値非開示のため、グラフからは除外

# 国内FX会社比較 | 取引高

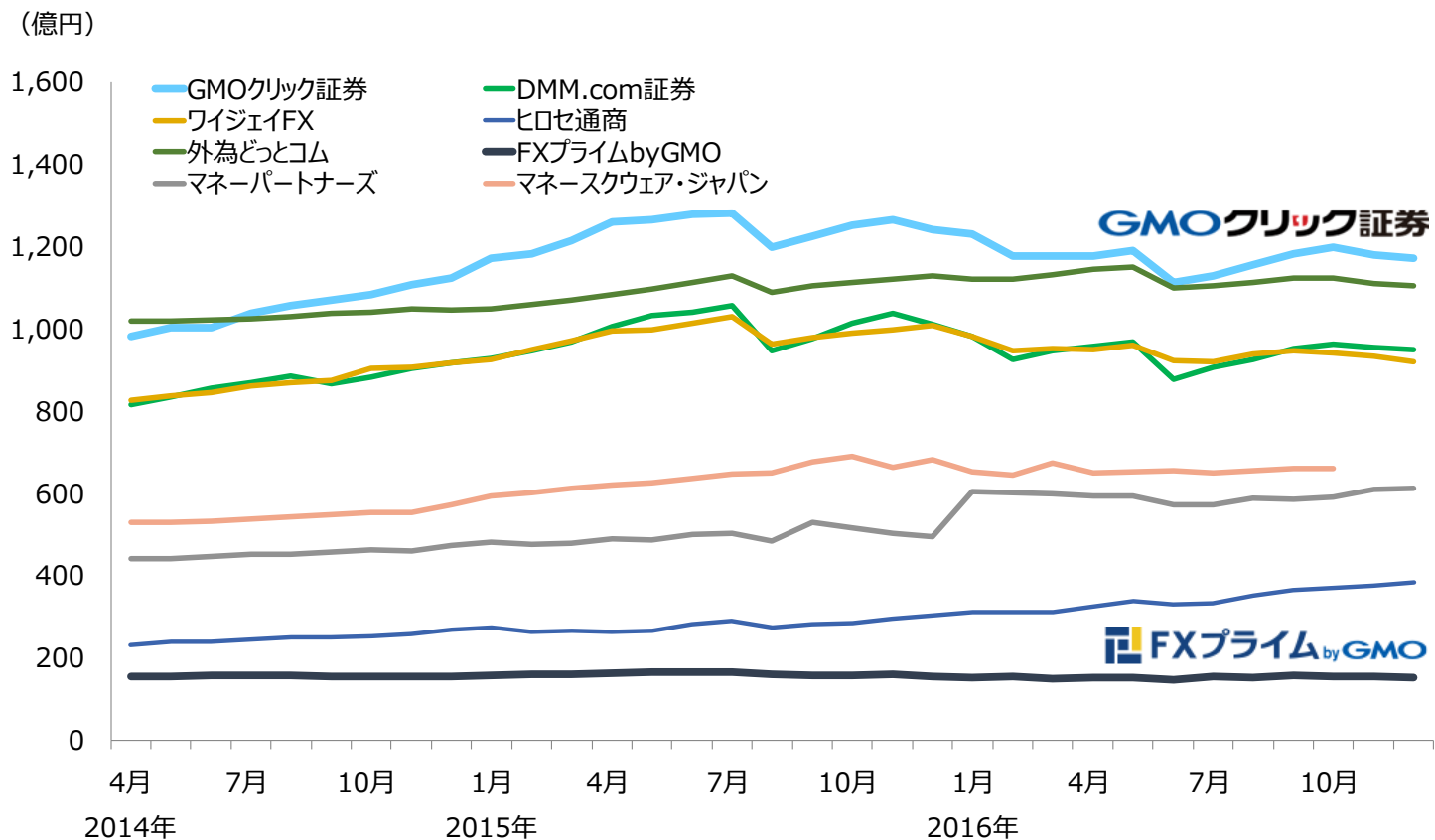
(兆円)



FX取引高  
第1位

出所：矢野経済研究所月次調査有力FX企業月間データランキング（2014年4月～2016年12月）より当社作成  
※百万通貨は1 億円として換算

# 国内FX会社比較 | 預り証拠金残高

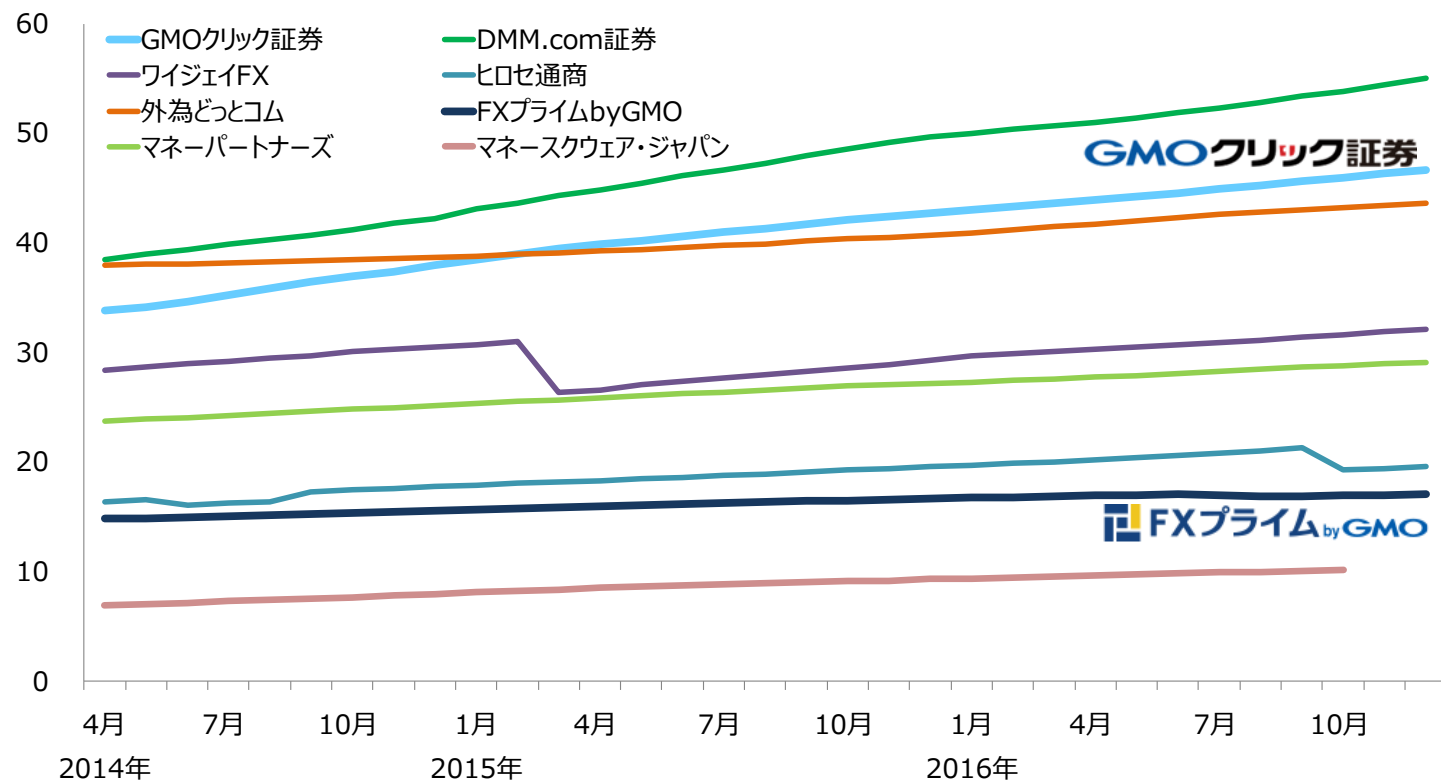


預り証拠金  
残高  
第1位

出所：矢野経済研究所月次調査有力FX企業月間データランキング（2014年4月～2016年12月）より当社作成

# 国内FX会社比較 | 口座数

(万口座)



口座数  
**63.6万**  
口座

出所：矢野経済研究所月次調査有力FX企業月間データランキング（2014年4月～2016年12月）より当社作成



## 免責事項

本資料には、将来に関する前提、見通し、計画等に基づく予測が含まれています。世界経済、競合状況、為替の変動等にかかわるリスクや天変地異などの不確定要因により実際の業績が記載の予測と大きく異なる可能性があります。またマーケットシェアなどの数値について一部弊社推計値が含まれております。調査機関によって異なる可能性があります。また本資料に掲載されている情報は、情報の提供を目的としたものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。また本資料内に記載されている業績予想などの将来の予測に関するものは、リスクや不確定要因を含みます。実際の業績は経済情勢や市場環境など、さまざまな要因により、かかる予想とは大きく異なることがあることをご承知おきください。当該情報に基づいて被ったいかなる損害に関しても、その理由の如何に関わらず一切の責任を負うものではございません。